

R4 年度 ぐっどういる境南（認知症対応型通所介護）運営推進会議 議事録 【第 2 回】

日時：令和 5 年 4 月 10 日（月）16：30～17：15

場所：ぐっどういる境南  
2F 山桃

利用者	A 様	地域代表		地域包括	日赤在支 2 名	通所介護	3 名
家族	A 様のご家族	武蔵野赤十字認知症疾患医療センター	B 様	市職員	高齢者支援課職員 1 名		施設長 相談員 介護職員

■議題

1. 出席者紹介
2. 活動報告及び利用者状況
  - ①活動報告
  - ②利用者状況
    - ・市内市外の登録者数
    - ・男女比
    - ・曜日別利用者数
    - ・介護度別利用者数
    - ・月別出入状況
3. ひまわり報告
4. 行政からの情報提供
5. 在宅介護・地域包括支援センターからの情報提供
6. その他

■議事内容

議事進行 施設長

1. 自己紹介
2. 活動報告・利用者状況報告（資料記載）
3. ひまわり報告（資料記載）

【ひまわり担当職員】

介護期間が長くなってくると、利用者の心身の機能の低下も少しずつ進み、ご家族の負担が多くなってきます。身体の硬くなった所を摩ったり少しずつ軟らかくしたりして姿勢保持を大切にするようにしています。可動範囲を広げることで、食事をとる、箸を持つなど利用者の出来る力を伸ばせたらと思います。特に、身体が少しでも軟らかくなるように意識しています。身体が動くようになれば自身でできることも多くなると考えています。

レクリエーションについては、絵や文字、表現など五感から入ることを心がけています。例えば歌などは昔を思い出す歌を歌い、歌から回想していくと言葉がでてくる事があります。回想する事で脳を刺激するように、会話の中に回想できる事柄を入れることを意識しています。利用者に寄り添って個人個人と対話するようにしています。

【市職員】

少人数の中で利用者の特性に合わせて視覚や聴覚からアプローチしている様子がわかり

ました。

（質問）今の稼働率はいかがですか。

（回答）今年3月現在では、  
通所介護（通常規模）で65%、認知症対応型  
通所介護で72%です

（質問）継続して通う人の期間はどのくらいで  
すか。

（回答）長い方で7～8年の方もいます。  
短い方だと1年未満でどんどん変わります。

#### 【地域医療機関】

困難事例などがあるなかで、適切に通所の利  
用に繋げていく工夫がなされているのがわか  
りました。利用者の利用継続に繋がるような情  
報は共有できるといいなと思います。

（質問）他の事業所ではなかなか馴染めない  
等、利用者に関する報告は必ず来るもので  
すか。

（回答）ケアマネージャーから、すでに利用し  
ているデイサービスでは受入が難しい等の相  
談があり、こちらを紹介されるケースが多い  
です。

#### 【地域包括】

1つの事業所に通所介護（通常規模）と認知  
症対応型通所介護があると、慣れたところで長  
く通いながら移行できると思います。環境が  
変わらないことや人が変わらないこと、その  
方の生活や性格の特性を分かったところで次  
に移行できるのは利用者さんにとってもす  
ごく安心だろうと思います。

#### 【施設長】

通所介護（通常規模）から認知症対応型通所

介護への移行は、アセスメントが0からではなく、その方の人となりをつかっていた上で行えるため、事業所側にも利点があると思います。

しかし、ご家族などは単価が上がり、区分支給限度額等の事情により、通所介護（通常規模）の時は週5日通所できたのに認知症対応型通所介護では週4日の利用となること、家族は仕事をしているので（利用者は）一人で家にいることが出来ずに困るという意見も見受けられます。利用者負担の問題など、バランスが難しいと感じることもあります。また、認知症対応型通所介護に対する印象などご家族の理解が良い方向に向くようになると良いと思います。

#### 【利用者家族】

通所介護（通常規模）から認知症対応型通所介護を含め8年ほど通所しています。今はあまり言葉も発さず動きも少なくどちらかという体も硬くなってきて家でも穏やかに過ごしています。

デイサービスでは体のけがや傷、湿疹など本人の状態を本当によく見てくださっています。適切な車いすの使用方法を教えてくださいなど、一人で見ているのではなく皆が見守ってくれていると感じます。

#### 【その他】【地域包括】

ご家族や行政にも知ってもらいたいことがあります。ここは境南町のランドマークタワー（中心）のような場所です。デイサービスの他に、山桃の会という失語症の方が集う自主グループなどもあります。屋上には庭園と菜園があり、昼食の調理で出る生ゴミで堆肥作りをする等、

健康な人も活動しています。また、家族介護の集いの場でもあり施設と協同しながら地域にかかれた事業を行っています。今後も、介護者だけでなく介護する家族の方が健康で長生きできる環境を作ることを目指していきます。

※令和4年度第2回目の会議だが、日程の都合により令和5年4月に開催した。